

## 上下水道料金の徴収一元化について（報告）

### 1 上下水道料金の徴収一元化とは

千葉県水道給水区域内の下水道使用料の徴収事務を千葉県に委託し、平成33年1月から、上水道料金と下水道使用料を一括で徴収することにより、住民サービスの向上や各市における事務の効率化、経費削減を図るもので、平成30年1月より第一期徴収一元化として、先行的に千葉市、成田市、市原市、鎌ヶ谷市で開始されている。

### 2 徴収一元化の参加市と経緯

- ・平成30年1月 千葉市、成田市、市原市、鎌ヶ谷市
- ・平成30年5月 本市の他、船橋市・松戸市・浦安市・白井市・印西市が次期一元化に参加表明
- ・平成30年9月28日 徴収一元化に関する千葉県水道局との覚書の締結
- ・平成33年1月 徴収一元化に移行

### 3 徴収一元化の効果

#### 【市民側のメリット】

- ・料金の支払いや引越しなどに伴う使用開始・中止・口座振替の手続きが一度で済むなど使用者の利便性の向上

#### 【市側のメリット】

- ・下水道使用料を水道料金と一緒に徴収することにより、収納率の向上が見込まれ収入未済の削減が期待できる
- ・事務の効率化と徴収委託費などの経費削減

### 4 利用者への周知等

一元化移行における混乱を最小限に抑えるために、千葉県水道局と協力し、概ね1年前から公共下水道の利用者に個別にお知らせを送付するとともに、市公式ウェブページや広報いちかわを通して周知を実施する予定としています。